

# 放課後子ども教室とは？

## 目的

県内の小学校区において、放課後や週末等に、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものです。

## 実施体制

### < 県 >

#### ○とちぎ放課後子どもプラン推進委員会（年2回）

県内の総合的な放課後対策の在り方を検討。

#### ○放課後子どもプラン指導者研修

放課後子どもプランにかかわる指導者の資質向上及び各市町における円滑な取組が促進されるよう、事業推進に向けた担当者等の意見交換・情報共有を図る。



### < 市町村 >

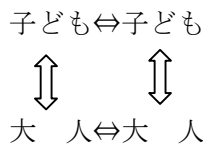
#### ○運営委員会の設置

放課後子ども教室の活動内容や運営方法等を検討。

#### ○コーディネーターの配置

#### ○放課後子ども教室の実施

### 放課後子ども教室



#### 学習活動

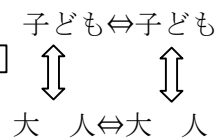
宿題、予習  
・復習など

#### 体験活動

文化芸術活動  
スポーツなど

#### 交流活動

昔遊び  
農業体験など



学習アドバイザー

安全管理員

活動ボランティア

参加・協力

地 域 住 民

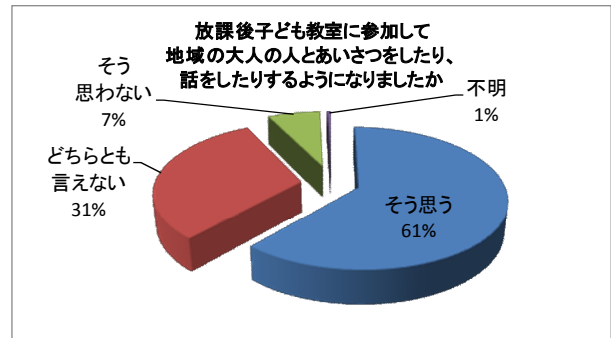
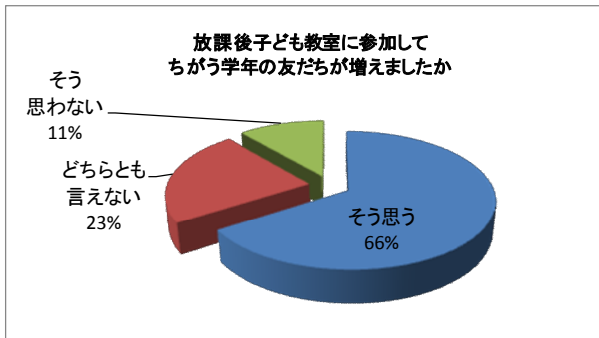
※栃木県では、放課後子ども教室の活動を「ふれあい学習」として推進しています。

「ふれあい学習」…家庭や地域の教育力の向上を図りながら、地域の様々な人々がこれまで培ってきた経験や技術を生かし合いながら、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々がおこなう交流活動、体験活動、学習活動を「ふれあい学習」として全県的に推進している。

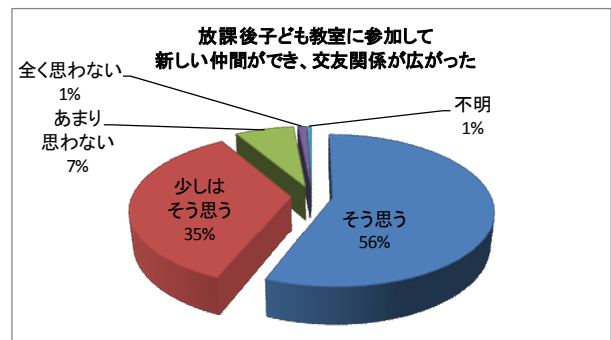
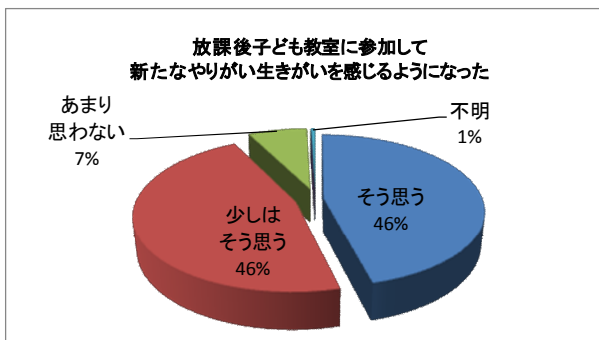
# 「放課後子ども教室」の活動は、 『地域づくり』につなげていくことができます。

<<平成22年度放課後子ども教室推進事業の効果及び成果に関する調査より>>

○放課後子ども教室に参加している子どもの感想



○放課後子ども教室にかかわっている安全管理員・学習アドバイザーの感想



「放課後子ども教室」は、子どもが新たな交流を築くだけでなく、教室の運営に係わる地域の大人が集い、交流を深める場ともなります。子どもの学びや遊びの機会を提供する活動をととして大人同士の交流を深めることで地域づくりにつなげていくことが重要です。

## ☆「放課後子ども教室」を「地域づくり」につなげるポイント☆

### ① まずは大人が楽しむ、学ぶ、豊かになる

子どもたちのためのボランティアが義務になってしまえば、活動を続けることができません。ボランティアが自分自身の楽しみ、やりがい、生きがいとなるよう、無理なく活動しましょう。

### ② 「横のつながり」を作ろう

子どもたちとのコミュニケーションを大切にすることはもちろんですが、活動にかかわるボランティア同士、保護者同士、ボランティアと保護者などの大人同士のつながりが重要です。情報交換ができる場を設けるなど、横のつながりが広がる機会を設定しましょう。

### ③ 地域による地域のための居場所づくり

子ども教室は、地域の大人が集うことのできる地域づくりの拠点ともなります。自分たちの地域をどのようにしたいか、そのためには、地域の子供たちをどのように育てたいか、地域住民に何ができるか等の地域像を共有し、自分たちで教室を運営していく体制を作りましょう。

### ④ 継続は力なり

地域にある既存の組織や取組等をうまく活用し、多くの住民が参加しやすい仕組みを作り、無理なく取り組みましょう。また、活動内容のPR等の情報発信を積極的に行うことで、保護者や地域住民の理解促進につながります。活動や広報を継続していくことで、子ども教室が地域に浸透していきます。



## 各教室の活動事例

